

オバマ米大統領が核廃絶を目指すと言宣したことで、これまでになく希望の光が差す中で迎えた84回目の広島原爆の日。広島市中区の平和記念公園には各国から平和を目指す人たちが集まり、「フーモア・ヒクシヤ」の旗を新にした。一方、未曽有の惨禍が被爆者の心身に残した傷跡は今も深く、自宅で静かに鎮魂の祈りをささげる姿もみられた。

川島市中区の平和記念公園で8月7日午前7時3分、貝家太一撮影
記念式典に参加するトム・カリンさん（中央）ら「懺悔の旅」のメンバー

オバマ大統領へ 被爆者の声聞い

演説内容実行して

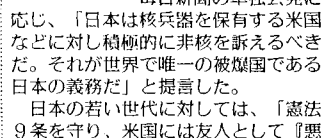
広島県出身で、初めて式典に参加した大阪府高槻市、大学1年、谷愛実さん(19) アメリカはもっと早く責任を取る行動に移ってほしかった。発言をきっかけに、世界の人に、もっと広島をちゃんと知ってほしい。

攝影

オは、大體し
て歩けを

米大統領のプラハ演説について、核兵器廃絶に向けた小さな一歩は核兵器の削減をどのくらいに進められるかだ」との認識【重石岳史】

非核の訴え 日本の義務



マハティール氏提言

オバマ米大統領のプラハ演説については、「核兵器廃絶に向けた小さな一歩。大切なのは核兵器の削減をどれだけ具体的に進められるかだ」との認識を示した。【重石岳中】

揺れる
水面に合掌 8000 個

かあり、約8000個の明かりが揺れる水面に向かって遠族らが手を合わせた。

（前文司さん）当時口にして亡くなったという。「来年は来られんかもしれん。けど、

元安川を流れる灯籠。原爆投下から64年、静かな時間がゆっくり流れた
 広島市中区で6日午後7時14分、貝塚太一撮影

11 広島市中区で6日午後7時14分、貝塚太一撮影

繰り返す悪夢 太陽怖い

看護学校寮で被爆 81歳・渡部さん

「ギラギラした日差しが怖いんです」。広島市中区広瀬北町の主婦、渡部芳枝さん(81)は6日、平和記念式典を放映する自宅のテレビの前で手を合わせながら祈るような表情でつぶやいた。

広島赤十字病院の看護学校寮(同区千田町1)で被爆した。爆心から約1・5キロ。建物は約1・5メートル、微熱が続いたが、約3週間、過労で倒れるまで働き続けた。

太陽を見ると、そんな光景がフラッシュバックするという。「目標を持って生きれば嫌、育てに専念。その後は、帽子とサンクラスを身につけて働き、契約を次々と取った。その最中、病魔が襲いかかった。くも膜下出血で失神、脳動脈瘤で一時右目が見えなくなるなど入院を繰り返した。が、定年まで勤めた。今も、日中の外出は

っている人、目玉が飛び出た人……。瀕死の患者であふれていた。手当てに走り回り、夜は遺体を焼く手伝いもした。自身も髪が抜け、



平和記念公園の方向を向き黙る渡部さん
〓広島市中区で6日午前8時15分、小山昌宏撮影

痛みに向き合い

帽子と日傘が欠かせない。長女(60)と長男(55)が続き、安らかに生を終えられることを願います。式典を見ながら、全国で約70人の原告が死した。もう一つ早く政治決断できなかったのか」と批判の声も上がった。

早急な政治決断を求め続けた広島訴訟原告団の玉本晴英副団長(79)は「今回は、司法の力を借りて国を追いつめ、結果を出すことができたが、6年間かかった。一番の悲劇は、原爆症認定を受けられずに原告の多くが亡くなったこと」と語気を強めた。

首相と原告団 調印式

全面救済 決断まで6年 批判も

「ご決断ありがとうございます。調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。

「調印式後の「被爆者」を交わした。